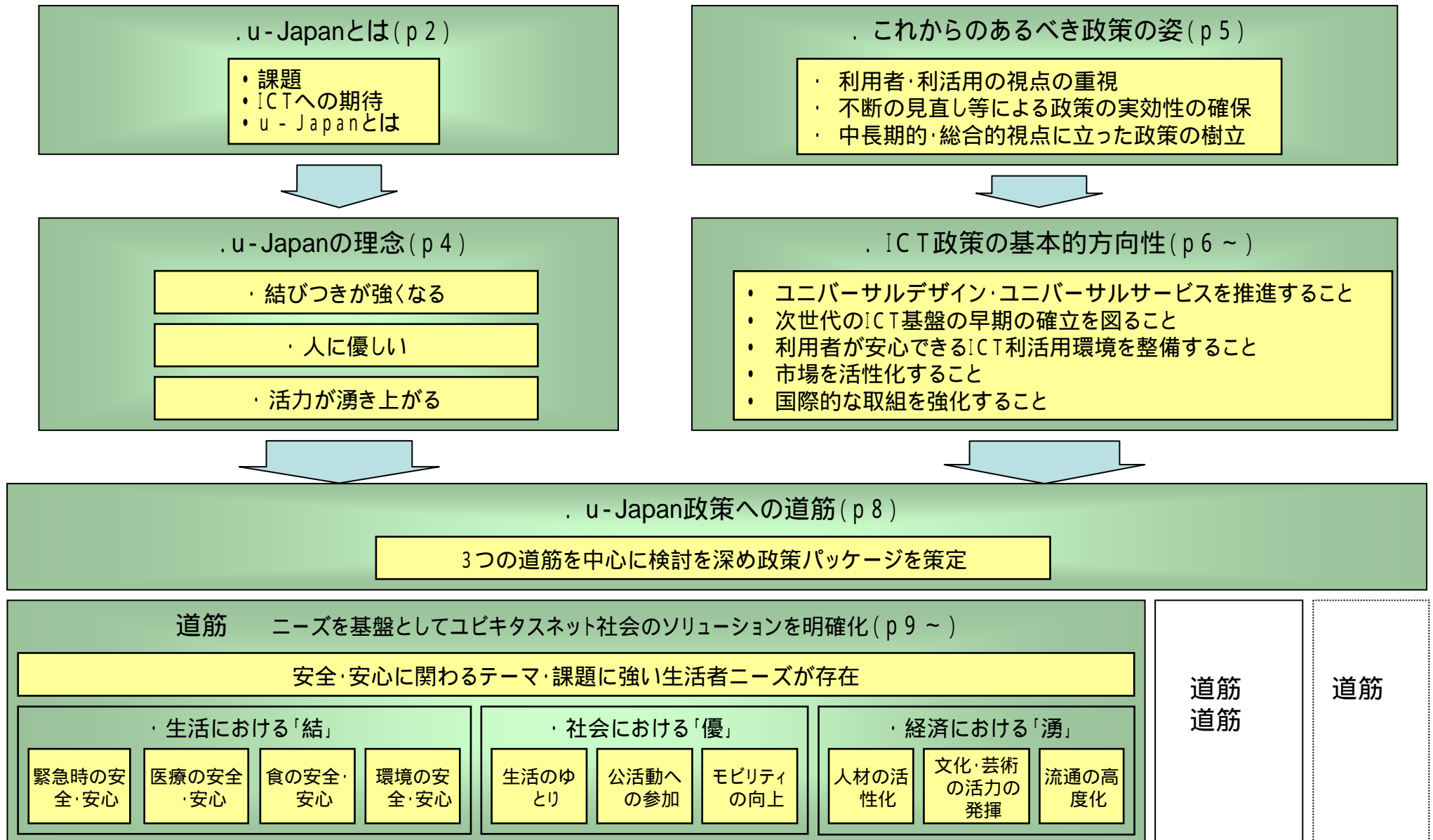


全体の「中間とりまとめ（案）」への
インプットについて

中間とりまとめの全体像



u - J a p a n 政策への道筋

- u - J a p a n 実現に向け、次の道筋を辿りつつ、包括的な政策パッケージを策定

道筋 (章) 生活者のニーズを基盤としてソリューションを明確化(WG1)

- 生活者等のニーズを出発点として検討し、その上で、重要性の高い課題解決策(ソリューション)を整理し、u - J a p a n の全体像及びその実現に向けた包括的な政策パッケージの明確化を図る

道筋 ICT産業を活性化しユビキタスネット社会の基盤を構築(WG2)・・・【P(章予定)】

- 新ビジネス・新サービス創出、国際競争力強化などの観点から特に緊急性が高い基盤整備の取組等を推進することにより、ICT産業のポテンシャルを高め、ユビキタスネット社会へ向かうための土台を作り上げる

道筋 ユビキタスネット社会構築へ踏み出すにあたっての不安や障害を解消(WG3)・・・【P(章予定)】

- プライバシーやセキュリティなど利用上の不安や障害に関する課題の明確化・優先度付けを行い、第一歩として講ずべき方策を提示すると共に、守るべきモラルやルール等に関する憲章を作成することによって、ユビキタスネット社会への円滑な移行を図る

道筋 その他の重要な個別課題の解決

- 通信・放送の境界の意義の変化やコンテンツ市場活性化を念頭にした規制改革、分野横断的競争政策等についての検討を中長期的に推進
- 増大する電波への需要を考慮し、給付金制度の創設等を通じ、周波数の最適かつ迅速な配分が可能な市場原理活用型の電波政策の展開 等

道筋 ユビキタスネット社会構築へ踏み出すにあたっての不安や障害を解消

ユビキタスネット社会に対する期待の一方で、多くの不安や障害が残されているのが現実

(例)

いつでも	⇔	24時間ネットにつながっていて、プライバシーの確保は本当に大丈夫？
どこでも	⇔	電車内や病院のような場所でも使われ、他人に迷惑となって困る事例が頻出？
何でも	⇔	身の回りの情報機器全てに対し、ウィルスの心配が必要？
誰でも	⇔	田舎や高齢者・障害者でも、本当に簡単に使える時代が到来？

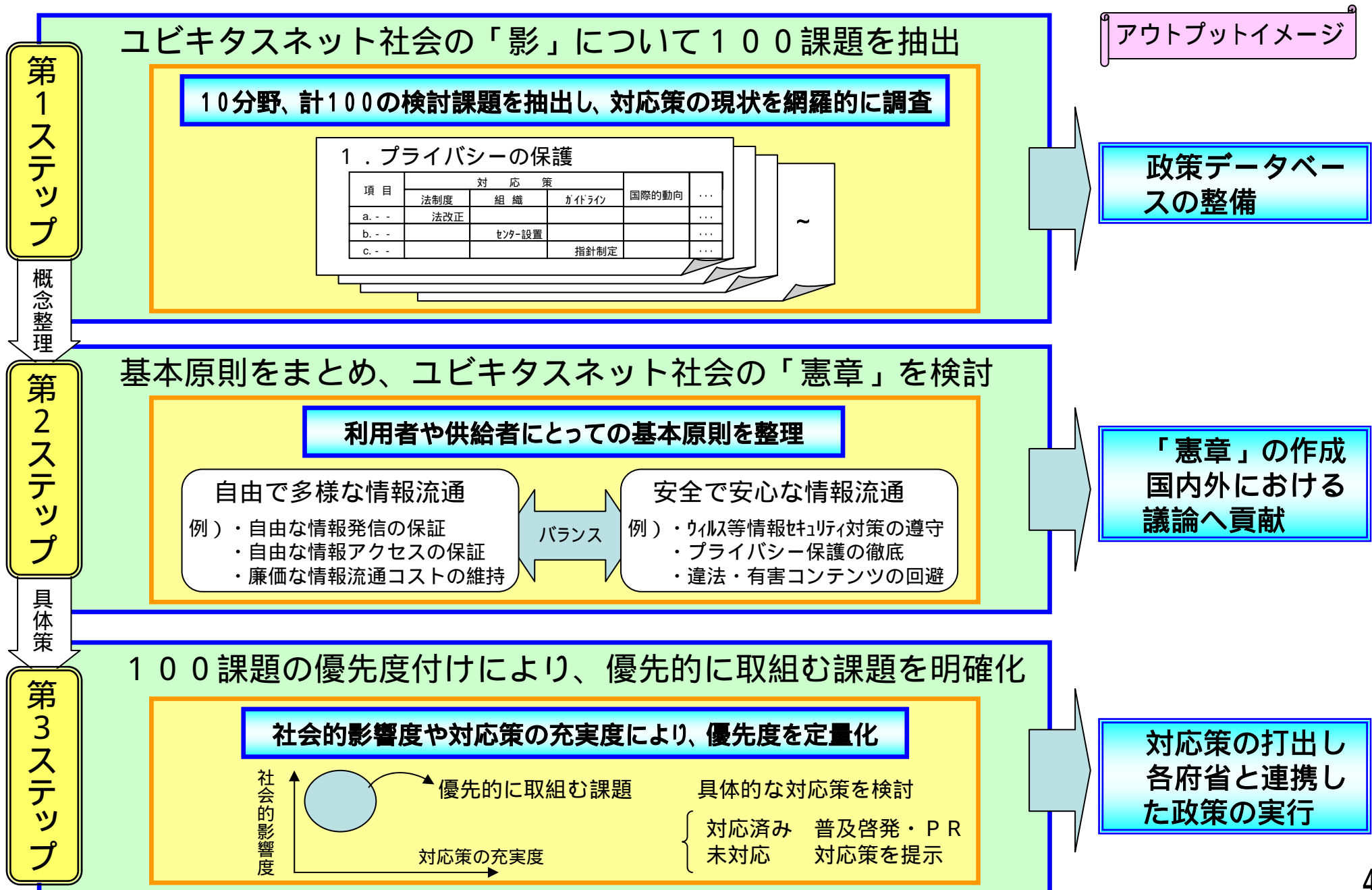
プライバシーやセキュリティ等を中心に
様々な不安や障害が顕在化

「影」の部分についての理解を深め、課題を整理しておくことが必要

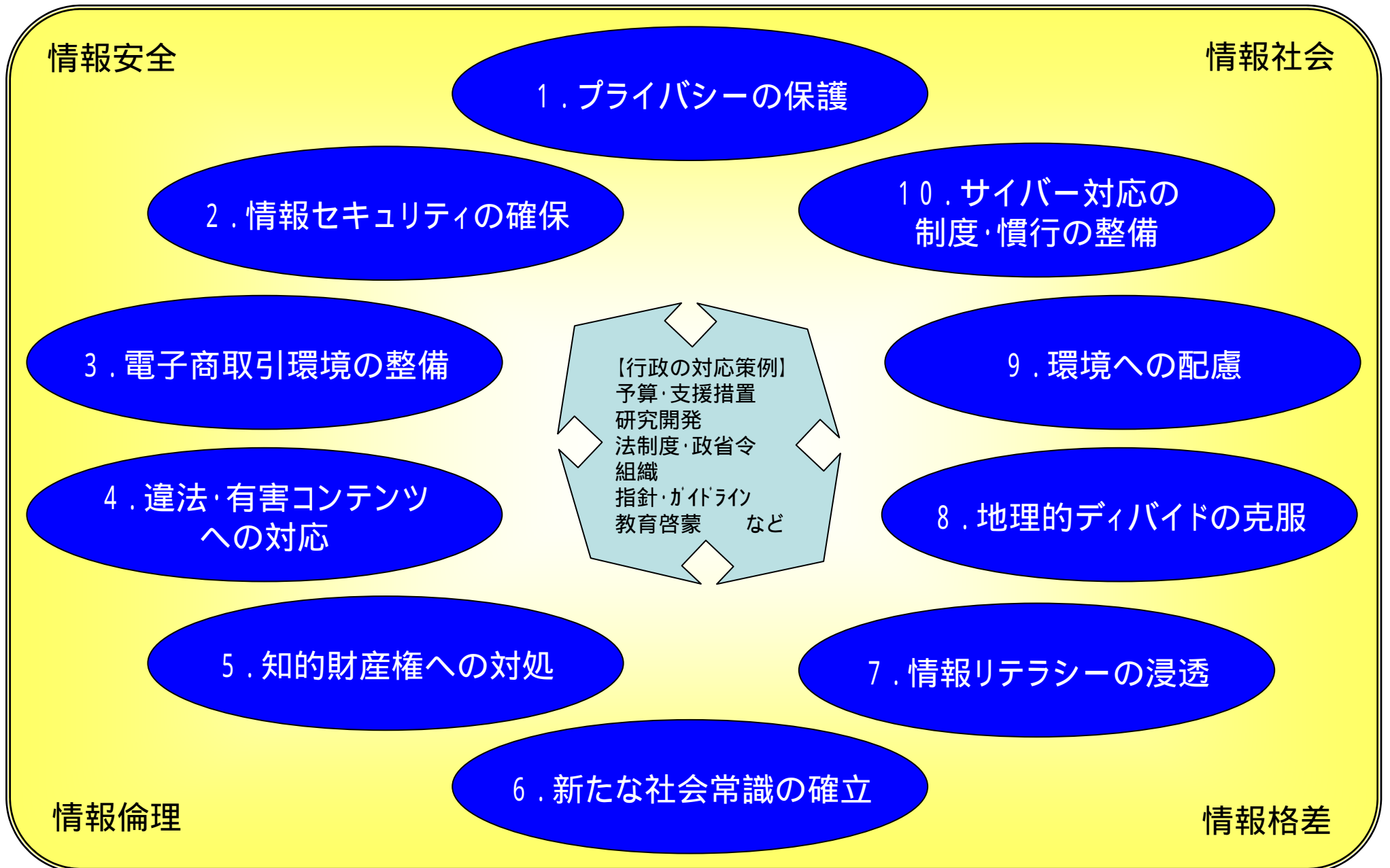
利用環境WGにおける検討

2010年のu-Japan実現に向けた道筋として、基本原則や具体的な対応策、スケジュール、数値目標等を盛り込んだ「設計図」を提示

課題解決へ向けたフローチャート



参考1：ユビキタスネット社会に向けた課題の整理（10分野）



参考2：ユビキタスネット社会の「影」についての100課題の抽出

10分野について、各分野10課題ずつ、計100課題を抽出

1. プライバシーの保護	2. 情報セキュリティの確保	3. 電子取引環境の整備	4. 違法・有害コンテンツへの対応	5. 知的財産権への対処	6. 新たな社会常識の確立	7. 情報リテラシーの浸透	8. 地理的デバイドの克服	9. 環境への配慮	10. サイバー対応の制度・慣行の整備
金融・決済等にかかわるプライバシー保護のあり方 (クレジットヒストリー、借借情報等の保護等)	ハイテク技術、製品等の輸出規制 (マイクロプロセッサ、OS、暗号ソフト技術等)	電子決済の安全性 (クレジットカードのスキミング等による不正利用、電子マネーの盗取、電子決済・電子決済等における電子決済サービスの運用等)	有害なサイトの増加 (公衆負担に及ぼすサイト(アダルトサイト、暴力サイト、差別的な内容を含むサイト等)の増加、出会い系サイトや児童ポルノの問題等)	ドメインと商標の問題 (サイバースクワッシングの問題等)	情報機器の廃棄と個人情報保護の問題 (情報リテラシーのハードディスク等からの情報漏洩の問題等)	外国産情報への対応 (情報の多くが外国産という問題等)	基礎的サービスの地域格差 (インターネット利用、地上放送等の基礎的なサービスの地域格差等)	廃棄物の増加 (情報通信機器の買い換えによるゴミや廃棄物の増加等)	アジア等におけるリーダーシップ不足 (IT導入やユビキタスネット社会実現の成功モデルの提示、発信等)
ウェブサイトを利用した顧客情報の取得 (クッキーやストライクアップの取得、サーバーログによる個人情報の取得等)	コンピュータウイルスの問題 (次に発生する新たなウイルス、常時稼働によるウイルスの蔓延化等)	違法な電子取引の増加 (違法な商品の売買の問題、未承認商品等の販売・広告の問題、消費者利用安全法違反の販売、偽造、模倣の密売、送品の欠損)	犯罪行為の助長の問題 (検索エンジンによる違法・違法行為のあり、犯罪行為の助長、犯罪捜査の困難等の問題への対応等)	著作権の不正利用 (ネット上における著作権の改ざん、不正複製、不正送信、リミット等による不正なファイル交換、コピープロテクションの回避等)	どこでも分かる情報提供の視点の欠如 (専門用語、カタカナ用語の乱用等)	収入等による情報格差 (収入や職業等の違いによる情報格差の問題等)	高度サービスの地域格差 (光ファイバーやADSL等の高速・高速度サービス、高機能、ネットワーク等の地域格差等)	不法投棄の問題 (有害廃棄物の不法投棄の増加の問題等)	対面販売や文書保存等の義務付け (顧客等の対面販売や店舗設置の義務等に際する規制、報告・届出義務等義務等文書保存の義務付けに関する規制等)
医療分野におけるプライバシーのあり方問題 (カルテ、レポート等の情報、遺伝子情報の扱い等)	盗聴、通信傍受の問題 (小規模なマイク等の盗聴機器の監視、IP電話、H.323テレビ会議などに関するネットワーク上の盗聴対策への対応)	消費者相談の急増 (オアシスのトラブル、匿名掲示板における盗聴等)	プロバイダー責任のあり方 (プロバイダーや管理者の責任の問題等)	ビジネスモデル特許の問題 (アマゾン・ドットコムやワンリックショッピング等インターネットを利用したビジネスモデル特許の問題等)	モバイル機器の利用マナーの不在 (携帯電話等モバイル機器の悪用、公共の場所等における利用マナーの不在等)	障害者等への対応 (障害者、視覚障害者への対応の遅れ等)	情報通信利用の南北格差 (先進国と発展途上国における情報格差の問題等)	エネルギー消費の増加 (省エネルギー等による電力消費の増加、環境的に重要な電力の消費削減等)	農林水産分野におけるITの利活用促進 (農林水産分野におけるITの利活用促進、農林水産分野へのITの応用等)
公的機関や事業者の保有する個人情報の保護 (顔・指紋、プロバイダ、通信事業者等が保有する個人情報の扱い等)	不正アクセスへの対応 (パスワード管理、なりすまし、ホームページの改ざん等)	ネット利用履歴情報の増加 (検索履歴、メール履歴、マルチメディア、お気に入り等)	ネット上の悪行の問題 (海外のネットカジノの問題、国内の違法なネットゲームの問題等)	海外における知的財産権侵害 (海賊版・模倣品の問題等)	会社等におけるネット利用ルールの不在 (社員プライバシーのあり方(勤務時間表、内部通信履歴)、会社による社内LAN監視に関する指針の不在等)	教育におけるIT活用の遅れ (教育現場における情報機器の遅れ、教育コンテンツの開発体制の未整備等)	社会資本整備におけるITの優先度 (教育や研究への社会資本へのシェアの拡大、ハードウェアの普及促進等)	紙消費の増加 (印刷物の紙消費の増加等)	司法におけるITの利活用の促進 (裁判におけるIT導入の遅れ、裁判等のデジタル化の遅れ等)
サービス利用における匿名化技術の問題 (アノニマイザー、公開プロキシ等の問題等)	ユーザの情報セキュリティ意識の問題 (個人情報セキュリティ意識の不足、普及に伴うユーザーの平均スキル低下等)	ネットを利用した広告の問題 (オプトイン・オプトアウト、ポップアップ広告、スパイクウェア等)	迷惑メールに関する問題 (迷惑メールの増加、チェーンメールの禁止、迷惑メールの発生、迷惑メールの防止等)	コンテンツの二次利用の問題 (二次利用市場の未成熟、DVDやゲームソフト等の不正コピーの問題、著作権者の権利保護、著作権保護の問題等)	ネットを利用した社会活動ルールの不在 (ネットを利用したボランティア活動、コミュニティ活動のルールの不在等)	国際化への対応 (海外からの観光、旅行者などへの対応等)	ITを活用したまちづくりの推進 (地域振興の活性化の促進、カーブの活用等)	新技術の人体への影響 (電磁波の人体への影響等)	医療におけるITの利活用の促進 (医療現場での情報機器利用ルールの不在の問題等)
ホットスポット等における利用者管理のあり方 (ネットカフェ、レンタルオフィス、公共施設利用などにおける利用管理のあり方、キーロガー等による個人情報取得の問題等)	無線インターネットのセキュリティのあり方 (無線LANからの情報の盗取、改ざん、漏洩等)	電子取引利用者の知識や経験の不足 (消費者の知識による違法販売、購入の困難、操作ミス等)	コンテンツの安全性・信頼性への問題 (ソフトウェア・ウイルス、スパイウェア、マルウェア、セキュリティソフト、セキュリティソフト、セキュリティソフト、セキュリティソフト)	著作権に関する利用ルールの未定着 (ホームページ等における著作権、著作権侵害、違法リンクと著作権侵害の問題、著作権侵害による作品の保護の問題等)	ネット利用に関するマナー(ネットゲート) (メール、掲示板等インターネット上で適切な利用に関するマナー等)	高度なIT人材の不足 (プロジェクトマネージャやSEの不足、高度なIT技術プログラムの未成熟、教育機関の不足等)	コンテンツやソフトに関する個人情報 (プロジェクトマネージャやSE等の個人情報への管理への意識中等)	流通における情報財の未活用 (紙等を大量消費するパッケージ型ソフトウェアから、データ駆動への流通転換等)	ITベンチャー等の資金調達の問題 (担保要件の厳格化、ベンチャーキャピタルの育成、ベンチャー支援策の充実等)
撮影ルールのあり方 (盗撮機の使用、カメラ付き携帯電話の不正な利用、防犯カメラの活用等)	ネット社会の匿名性の問題 (サイバー空間、匿名性によるネット上の匿名性)	電子取引の国際的問題 (国境をまたぐ電子取引、商標等の違い等のトラブル、著作権の問題等)	匿名掲示板における問題 (匿名掲示板での誹謗中傷、不適切な情報提供、炎上問題の発生、炎上問題の発生)	肖像権等の問題 (パブリシティ権、肖像の盗用による肖像権侵害、キャラクター等、デジタル著作権の問題、コンテンツ再配布、デジタル著作権イフにおける個人情報保護のあり方(顔出しの禁止、一人、背景画像)等)	新たな活動形態に関する問題 (テレワーク導入のルールの不在等)	情報の氾濫 (情報の氾濫による取捨選択が困難、エージェンシーの活用による取捨選択の困難、目録の不足等)	電子自治体における格差 (電子自治体の推進、情報公開の推進、公共サービスの民間開放等における格差等)	電子タグのリサイクルのあり方 (電子タグのリサイクル利用の問題等)	電子政府の利便性の不足 (電子申請の便となるデータ形式や標準の統一、ワンストップサービスの推進等、部分の電子申請(電子申請)の推進等)
バイオメトリクス認証の導入のあり方 (指紋、手帳、顔、虹彩、声、声紋、DNA等の本人認証の導入の是非、デジタル著作権の問題等)	国内安全保障へのIT導入の遅れ (電子政府、電子自治体におけるセキュリティポリシーの策定、パスワードのIC化、顔認証システムの問題等)	ネット上の商業活動に関するルールの未整備 (ネット上の商業活動に関する法令の不備、ネット上の商業活動と著作権の未整備、ネット上の商業活動に関するルール(著作権の侵害)の問題等)	迷惑電話に関する問題 (フリーダイヤル、迷惑電話・FAX、迷惑IP電話の問題等)	ソフトウェアのオープンソース化 (オープンソースソフトウェアの普及、ソースコードの公開の是非等)	情報技術の研究開発における科学技術倫理 (新しい技術の実用化の是非の判断基準の不在、倫理問題の発生、利用ルールの不在等)	ソフト等のバージョンアップの問題 (旧バージョンのサポート体制の不在、新しいバージョンへのユーザの対応の問題等)	IT産業振興の有無 (IT産業の成長、ローカルコンテンツの有無)	青少年の教育への影響 (インターネットの普及、ローカルコンテンツの有無)	地方公共団体の業務の不統一 (地方公共団体の業務共通化の進捗とアプリケーション等の不統一、情報公開や行政手続きの電子化のあり方)
位置情報の取り扱いルール (GIS、GPSからの位置情報、交通系ICカード、営業活動の効率化による位置情報活用等)	トラフィックの急増 (ウェブブラウザやファイル交換によるトラフィックの急増、バックボーンの問題、高速ネットワークの不足等)	電子取引の規格の不統一 (電子取引における伝送、データフォーマットや運用プロトコル等の不統一等)	コンテンツ提供の国際的問題 (国境をまたぐコンテンツ提供、ミラーサイトの問題、著作権・文化庁による著作権等に関するコンテンツ提供の問題等)	知的財産権の不足 (違法活動への被害を賠償するビジネスモデルの未成熟、コンテンツ輸出の不足等)	映像コミュニケーションに関するマナーの不在 (テレビ会議、テレビ電話等におけるマナー)	中小企業におけるIT活用の遅れ (中小企業における情報システム導入の遅れ、人材不足(特にIT人材)、教育・文化・スポーツの不足、サポート体制の不備等)	地下空間や移動中におけるネット利用 (地下空間における情報機器、移動中におけるモバイル機器利用等)	仮設店舗の増加による実店舗不足 (実店舗不足による購買、販売・能力の低下、不足等)	労働分野におけるITへの対応の遅れ (テレワークに対応した制度の遅れ、IT技術者の入職問題等)
電子タグの利用ルール (消費者に告知しない無断の電子タグ利用、電子タグから得られる個人情報の取り扱い等)	非PC環境のセキュリティ (PDA、携帯端末のセキュリティ等)	電子署名・電子認証の未発達 (電子政府・電子自治体における電子の本人認証の遅れ、電子署名等に関する標準の導入、資格保有者の認証の遅れ等)	青少年のコンテンツ利用の保護 (フィルタリング、Vチップ、年齢制限手段の導入等)	パブリックドメインの不足 (著作権フリー表示の誤り、パブリックドメインの未整備等)	ロボット利用に関するルールの不在 (ネットロボット、介護ロボット、ネットワークロボット等の利用ルール、公衆負担に及ぼすロボットの活用可能性等)	誰でも簡単に使えるインターネットサービスの不足 (誰でも簡単に使えるインターネットサービスの不足)	ソーシャルキャピタルの未発達 (地域コミュニティにおける情報機器、ボランティアやNPO、教育・文化・スポーツ等に関するインターネットサービスの不足)	体内へのハイテク機器の埋め込み (体内への人工臓器の使用、電子タグの体内への埋め込み等)	規制分野におけるITへの対応の遅れ (電子納税制度の未整備等)

未来型の課題